

全改協だより

第49回全改協通常総会開催報告 (1～3面)
令和8年度事業説明会議の開催 (3面)
インフォメーション (4面)



令和8年熊本地震の甚大な被害の報道に接し、心からお見舞い申し上げます。
猛暑の中の避難生活、まずは身の安全を第一優先とし、熱中症やエコノミークラス症候群そのほかに留意されてご安全にお過ごしください。

一般社団法人全国牛乳流通改善協会

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-2 ウインド西神田ビル502

TEL.03-6380-8021 FAX.03-6380-8435

e-mail | mail@zenkaikyou.or.jp

URL | www.zenkaikyou.or.jp

X | @zenkaikyou

facebook | 全国牛乳流通改善協会



第49回全改協通常総会開催 木納前会長から宮寄新会長にバトンタッチ ほか役員大幅改選 一本年度の事業内容などを承認

一般社団法人全国牛乳流通改善協会(全改協)は、去る6月12日(金)、第49回通常総会を東京・市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷にて開催しました。

◆◆◆ 第49回通常総会 議事次第 ◆◆◆

- 一、開会の辞
- 一、会長挨拶
- 一、来賓祝辞
- 一、議長選任
- 一、議事録署名人選出
- 一、議案審議
- 第一号議案 令和7年度事業報告書承認の件
- 第二号議案 令和7年度決算報告書承認の件
- 第三号議案 令和8年度会費見直し件
- 第四号議案 全改協組織強化資金取崩し承認の件
- 第五号議案 役員改選の件
- 第六号議案 令和8年度事業計画および収支予算報告の件
- 一、閉会の辞

通常総会では、令和7年度の事業報告・令和7年度の決算報告・会費の承認・「全改協組織強化資金」取崩しの

承認・役員改選・令和8年度の事業計画および収支予算報告を行いました。総会は、定数37名に対して委任状出席、権利行使を含む37名の出席があり、全改協定款第19条および総会運営規程第7条により成立いたしました。白羽副会長からの開会宣言があり、次いで木納会長から開会の挨拶がありました。引き続き農林水産省畜産局牛乳乳製品課、賛助会員、乳業メーカー、関係諸団体からお招きした来賓を紹介し、来賓を代表して農林水産省畜産局牛乳乳製品課白尾課長補佐、一般社団法人Jミルク渡辺専務理事、雪印メグミルク株式会社中島市乳事業部長のお三方からご祝辞をいただきました(次項以降に内容を掲載しています)。

議長に岐阜県流改協 大島会長、議事録署名人に青森県流改協 白井会長、千葉県流改協 上原会長を選任して議事に移りました。

議事は、冒頭に記したように、令和7年度の事業、次いで令和7年度決算を報告し、質疑等なく承認されました。次に、本年1月現在の各流改協の加盟店数に基づいた本年度の各会員(流改協)の会費金額を提案し、承認されました。

次いで全改協組織強化資金の一部の取り崩しを提案し、承認されました。

次いで役員改選があり(下表参照)、2期4年会長を務めた木納雅康氏にかわり、新たに宮寄貴浩氏が全改協会

一般社団法人全国牛乳流通改善協会 役員

会長	宮寄 貴浩
副会長	南山 泰政
専務理事	西川 清蔵
常務理事	伊藤 恵祐
常務理事	新井 憲一
理事	吉村 隆司
理事	上野 幸司
理事	上原 啓資
理事	松永 道典
理事	浦野 裕之
理事	草河 伸一
監事	平石 克久
監事	北本 勝幸



南山新副会長 白羽副会長



木納 雅康氏

一般社団法人
全国牛乳流通改善協会 会長

会長 開会挨拶

最後に本年度 令和8年度の事業内容、予算の説明を行いました。ここで、「Jミルクと連携して実施する消費拡大事業などについて説明をしました。内容については本紙内の次の記事で説明します。その後南山新副会長の閉会の辞をもって総会本会議は終了いたしました。

第49回通常総会にあたり、開会のご挨拶を申し上げます。本日はご多用の中、農林水産省 牛乳乳製品課 白尾課長補佐はじめ来賓の皆さま、賛助会員の皆さま、乳業メーカーの皆さま、各関連団体の皆さまにご出席いただきまして厚く御礼を申し上げます。また平日にもかかわらず、各都道府県の流改協の会長の皆さまにもご参加いただき、重ねて御礼を申し上げます。

本日は、令和7年度の事業および決算のご審議、ならびに役員改選も予定しております。併せて、8年度の事業内容と

予算についてもご報告いたします。会員である各流改協の会長の皆さまにおかれましては、消費者と接点を持つ唯一の存在である牛乳販売店の地位の向上の観点からご審議お願いいたします。また、行政、関連団体、乳業メーカーの皆さまにおかれましては、全国の牛乳販売店の健全なる事業の継続のため引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

私も全改協は、一般社団法人「Jミルク」を構成する「生・処・販」のうち、「販」として重要な役割を担っております。昨年度は、農林水産省とJミルクが主催する「牛乳でスマイルプロジェクト」の一環として実施された消費者イベントでは、「宅配牛乳ステーション」を出展するとともに、「日本の酪農応援宣言」に基づく大規模な宅配牛乳消費拡大キャンペーンを実施いたしました。また、業界の喫緊の課題解決に向けたヨーグルト消費拡大では、戦略検討委員会に参加し、牛乳販売店を通じた新たな食のシーンを提案する「ヨルグルト」の活動を、牛乳乳製品の消費拡大に向けた新たな取り組みとして進めました。今年度参加する「Jミルクの事業では、牛乳販売店から価値を発信する広報活動が始動いたします。関係団体とネットワークを持つ全改協と、お客さまとの強い接点を持つ加盟店の強みを活かし、成果につなげてまいりたいと思っております。関係各位にお



毎日の健康を応援いたします!

カラダ強くする のむヨーグルト

L

ラクトフェリン

3つのサポート

ビフィズス菌
BB536

シールド乳酸菌®



100g

宅配専用

※2025年8月Dr'sReview事務局調べ 対象:101名(内科医または小児科医)

設問:「本シリーズを継続的に摂取することで、子供や大人の健康的な生活の維持にお勧めできると思いますか?」 本アンケートは商品使用者個人の感想であり、効果効能を保証するものではありません。

森永乳業

かれましては、引き続きご支援をお願い申しあげます。

昨今の国際情勢は、私たちの事業に大きな影響を及ぼしております。原油類の供給量不足は牛乳乳製品の容器製造や、配達車両の燃料費など、事業運営に直接影響します。また、急速に発展するAーも例外ではありません。当協会の牛乳販売店優良事例発表会で発表された過去の事例をAーに学習させたところ、

業界の状況をわかりやすく解説する資料が生成されるなど、発達しております。加盟店の中には、すでにAーを積極的に活用し、業務の効率化や高収益化に取り組むところが増えております。こうした社会情勢の変化をふまえて、当協会

は酪農乳業業界が目指す事業への参加、加盟店の活性化に向けた取り組みを引き続き推進してまいります。農林水産省、関係各団体、乳業メーカーの皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援をお願い申しあげます。

最後に、都道府県流改協の組織活性化、ならびに加盟店の皆さまの益々の繁栄を祈念いたしまして開会の挨拶といたします。

なお、本年度は役員の改選年度となります。わたくしは本総会をもちまして退



役員



来賓の皆さま

任というはこびとなっております。会長の責務を本総会の最後までしっかり果たしてゆく所存であります。四年間どうもありがとうございました。

本日は最後までよろしく願いたします。

祝辞

農林水産省畜産局
牛乳乳製品課課長補佐



白尾 紘司氏

本日は一般社団法人全国牛乳流通改善協会の第49回通常総会の開催にあたりご挨拶申し上げます。本日も参加の皆さまにおかれましては、日頃からわが国酪農乳業の発展にご尽力いただき、感謝申し上げます。また、地域に根ざした宅配業務を通じて様々な生活支援サービスにより、牛乳乳製品の安定供給や消費拡大にご尽力いただいている牛乳販売店の皆さまに、改めて御礼申し上げます。

さて、先ほどの木納会長のご挨拶にもありましたように、現在の一番の心配事は中東情勢の緊迫化による石油等の供給不安定化かと思えます。農林水産省としましては、3月末から、燃料油や石油製品等の供給に関する相談窓口を設置し、いわゆる「目詰まり」等に対して、

一つひとつ、経済産業省なども連携し対応しているところでございます。皆さま方から直接ご相談があった、という事例は今のところは伺っておりませんが、例えば乳業界では、「日ごろ仕入れている業者からA重油の仕入に色よい返事が出でず、このままだと脱脂粉乳が作れない」というような相談もありました。

これに対しては、いつも仕入れている業者ではなく、その地域での一段階川上の業者さんについての情報を提供してもらい、それを農水省から経産省に伝えましたところ、経産省はその川上の業者さんの名前から判明した元売りに問い合わせ

て解決したという例があります。政府としては、石油製品は年度を超えて供給可能と発表しております。ものはありますので、安心して日々の経済活動がんばっていただけたら、と思います。そうは言

いましても、価格転嫁だけは国が補助するとしても原資が税金なので意味がないため、極力皆さまにお願いしております。配送頻度を減らしたり配送の効率化などで努力されたりしていると思いますが、

どうしても原油価格の影響が出てきていると思います。原材料のナフサも、業者によっては価格が上がっているようで、お

そらく今は製造メーカー等で値上げの様子見をしている段階かとみられ、いつ値上げになるかわかりません。そうなる

と、販売店の皆さまにも、価格について消費者にご理解いただかなければならないタイミングが出てよいかと思えます。お

そらく、そのタイミングが、皆さまが今負担されている配送費等を上乗せしやすいのではないのでしょうか。そういう時期が今後必ず来ると思えます。ただその場合、必ず販売量は減ってしまいます。

そういう際に、農水省として、一人でも多く生き残ってもらうためにお役に立ちたい。そのため、木納会長からも発言がありました。数年前に立ち上げた「牛乳でスマイルプロジェクト」を昨年度「リブート」しまして、「ミルクを中心に、農水省が支援して活動したなかで、牛乳販売店に向けては、全改協経由で消費拡大

用のリーフレットを配布いたしました。今年度も牛乳販売店による牛乳乳製品の消費拡大に予算が取れましたのでリーフレットの制作配布をします。制作にあたっては、皆さまで案を出していただいて、会員の皆さまがいちばん参加、活用しやすいようなリーフレットを作っていたら、一致

協力して牛乳やヨーグルトのいいところを消費者に周知する手助けとして使っていたら、と思っております。

暗い話が続きましたが、いっぽう、皆さまのご協力もあり、今年度に入ってから、成分無調整牛乳とヨーグルトの販売量が、週ごとのPOSデータによれば1週を除いてすべて対前年比100を超

えています。おそらく、可能性として、ほかのものも値上がりしているからこそ、「これは買おう」と思うのが牛乳乳製品

なのでは、と思っています。これまでのお客さまをどうやって大切に

にするか、または新規のお客さまをどう獲得するかなど、戦略は色々お持ちだとは思いますが、牛乳乳製品は今申しあげ

た例のように消費者が受け入れやすい商品だと思えます。ぜひ皆さまで消費拡大をしていただければ、それがひいては消

費者の健康、こころの豊かさにつながると思いますのでぜひよろしく願いたします。今後とも、各地域において全改協を中心として、たとえば優良事例発表

会のようなさまざまな有意義な取り組みを通じて切磋琢磨していただき、牛乳乳製品の消費拡大にご尽力いただければ農水省としても喜ばしいことでございますので、よろしく願申し上げます。

祝辞



渡辺 裕一郎氏

一般社団法人Jミルク
専務理事

第49回通常総会の開催、まことに改めてございます。貴協会におかれましては、牛乳販売事業者による牛乳の流通改善、牛乳の消費拡大等のために多大

なるご尽力をいただいております。この場をお借りいたしまして深く感謝申しあ

げます。またJミルクの各種事業等にもご協力をいただいております、心より感謝申

しあげます。先ほど、木納会長、白尾課長補佐からのご挨拶にもありましたように、「牛乳

でスマイルプロジェクト」は、昨年からのわばバージョンアップいたしました、同じ

ひとつのロゴマークのもとに酪農乳業関係者が一体となって需要拡大を行って

おります。6月も中旬になりましたが、今月は「牛乳月間」です。本年は、牛乳でスマイルプロジェクトと連動させてポータルサイトを立ち上げました。その

中に「特設ページ」を設け、消費者の皆さまに對しまして、業界内外の関係団体や企業などが全国各地で実施しておられ

の対応をしていただき、また宮崎副会長には牛乳配達車輛を展示のためにお貸しいただき、感謝しております。なお本年度は10月17日に同じ豊洲にて開催予定ですので、ぜひご協力をお願いいたします。

また、ヨーグルトの需要拡大につきましても、先ほど木納会長からもお話がありましたとおり、事務局にも企画の段階から委員として参加していただいております。さらに本年は「牛乳でスマイルプロジェクト」本体の検討委員にも加わって

いただき、意見をいただいているところでございます。

国(独立行政法人農畜産業振興機構)の事業を活用し、Jミルクの事業を通じて、宅配用のリーフレットを作成し活用、

配布をしておりますが、本年度も継続して実施されることとなっておりますので、

Jミルクと連携を密にして、高い効果がもたらされるようによろしくお願いいた

します。また、優良事例発表会には、私は昨年度審査員で参加しましたが、いずれの発表店も地域に根ざしたすばらしい活動をされている状況を目の当たりにいたしまして、社会的役割が重要であること

を再認識いたしました。今後、地域での活動をいっそう活発化されることにも、牛乳でスマイルプロジェクトのもと、異業

種を含む、関係者との新たな協業等の消費者の理解醸成を通じて、国産牛乳乳製品の需要拡大に大きく貢献されることを期待する次第です。

最後にありますが、全国牛乳流通改善協会のご発展と、本日も出席一人ひとりの皆さまの益々の御健勝を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。本日はまことに改めてございます。

祝辞



中島 大介氏

雪印メグミルク株式会社
営業本部 市乳事業部長

本日は、第49回通常総会の開催を心よりお喜び申し上げます。また、全国で協会運営を担っておられる、役員ならびに事務局の皆さま、そして全国各地で

日々ご尽力いただいている会員の皆さまには、乳業各社に対し常日頃より格別のご高配を賜っておりますことを、厚く御礼申し上げます。

さて、昨今私どもをとりまく事業環境は、これまでにない大きな変化の中にあ

ります。とりわけ中東情勢の緊張を始めとする国際情勢の不安定化は非常にわれわれの事業に影響を及ぼしております。

エネルギーコストの高騰や原材料コストの上昇を通じて大きな影響を及ぼし、結果として物流費や資材費などの上昇が避けがたい状況です。保冷剤や保冷受け箱

といった、皆さまの日々のオペレーションを支える資材に至るまで、コスト増の影響が顕在化はじめております。

このような厳しい状況下においても、牛乳乳製品は「単なる商品」ではなく、地域社会の暮らしと健康を支える重要な基盤である、あらためて認識しております。地域の医療、福祉、教育の現場に

おいても、牛乳乳製品は日々の栄養供給を担う大切な存在であり、その安定供給は、私ども業界に課せられた社会的責任そのものだと感じております。

そしてその最前線を担っておられるのが牛乳販売店の皆さまによる宅配事業で

あると考えております。ちょうど先週、弊社では、宅配のお客さまと直接お話しをするイベントを開催いたしました。その中で、「宅配は毎週同じ曜日に届くので生活のリズムになっています」「子どものころ親がとっていた牛乳を、今は自分の子どもに飲ませています」「雨の日も雪の日も必ず届けてくれるので、ほんとうにありがたい。配達の方と顔をあわせるので安心につながっています」といううれしいお声をいただき、私も参加しましたがとても素敵な時間を過ごすことができました。こうしたお声の一つひとつに、牛乳宅配の本質があらわれているのではないかと考えております。宅配は、単に商品をお届けするだけでなく、お客さまの暮らしに寄り添って日々の習慣となり、安心やつながりを感じていただく存在だと思っております。決まった曜日に決まった品が変わらぬ品質であたりまえのように届く。この「あたりまえ」を守り続けることが、大きな信頼につながっているのだ、とあらためて教えられます。また、「顔が見える関係だから安心できる」という声も多くいただいております、宅配が人と人とのつながりを生み出していることも大きな価値であると感じました。

こうした、お客さまからの実際の生きた感想の中にこそ、私たちの進むべき道があるのではないかと感じています。特別なことではなく「あたりまえ」を徹底して、お客さまに寄り添い続ける。その行為の価値をどのように伝えていくか、高めていくか、ということが、宅配の未来をかたちづくっていく大きな力になるのではないかと思います。

エネルギー高騰、人手不足といったことによるサプライチェーンの変化もあり、

またA-の浸透により、社会のニーズも変化してまいります。これからさまざまな変化が押し寄せてくると思いますが、私ども乳業各社は、宅配の価値を販売店の皆さまとともにしっかりと高め、商品の開発、供給体制の整備、情報提供といった面で皆さまとの連携をこれまで以上に深めてまいりたいと思っております。

そして現場に寄り添った取り組みをいっそう推進し、牛乳乳製品の価値向上と安定供給に努めてまいります。

私ども乳業各社としても、それぞれの強みを活かし、生処販それぞれが一体となつて牛乳乳製品の需要拡大に向けた取り組みを積極的に推進し、持続可能な乳業の発展に貢献してまいります。

最後に、全国牛乳流通改善協会の益々のご発展と、本日ご参会の皆さまのご健勝、事業のさらなるご繁栄を心より祈念いたします。本日はまことにおめでとうございます。

就任あいさつ

一般社団法人
全国牛乳流通改善協会 新会長



宮崎 貴浩氏

役員改選により新会長に任命され、就任いたしましたことをご報告いたします。

全国牛乳流通改善協会は、マークを超える唯一の全国組織です。だからこそできること、だからこそやらなければいけないことが多岐にわたって多くあると思っております。新たな役員と事務局とともに、その役割をしっかりと果たしていきたいと思っておりますので今後ともご助力のほどよろしくお願いいたします。

令和8年度全改協事業説明会議を開催 — 本年度の事業について —

牛乳宅配業界として酪農乳業界一丸で推進する需要拡大策に取り組む

令和8年6月26日(金)、令和8年度全改協事業説明会議がオンラインで開催されました。この会議は、各流改協、メーカー各社のご担当者様を対象に、本年度の全改協事業をご説明するものです。この紙面では会議開催の報告を兼ねて、本年度全改協として実施する予定の事業についてご説明します。なお、これらの事業のほかにも、酪農乳業界の動きをはじめ、社会情勢、経済情勢や政策など、その時その時の状況に応じて、全改協として機動的に事業や対策を実施することにしております。それらにつきましては、実施の機会ごとに、流改協、マーク協、全改協だより等を通じてお知らせいたします。

今年度の事業方針

- 牛乳販売店の経営の安定、地位の向上に向けた活動を強化します。
 - 牛乳販売店の特性を活かして需要拡大を推進します。
 - 農林水産省、Jミルクなど酪農乳業界が連携した消費拡大活動を継続推進します。
- ▶顧客の減少、加盟店の廃業等、直面している課題に対して、業界団体でなければできない対応を強化します。
- ▶また生産と消費の乖離、消費拡大など、酪農乳業界が抱える課題を解決する場に、関係団体の一つとして、宅配の持つ特性を活かして積極的に協力して取り組みます。



ミルクカレンダー 2027

お客さまへのコミュニケーションツールとしてご活用ください。

(2) 研修支援事業

都道府県流改協主催で、講師を招いた研修会や勉強会、営業活動に関係する法律や制度の説明会などを開催することにより、加盟店の皆さまの経営改善、同時に流改協の組織活性化を目指します。

研修会開催の負担を軽減し開催機会を増やすために、全改協から会場費、支援金を支給します。

①会場費……開催会場使用料は全改協が負担

②開催支援金……参加人数に応じた支援金を支給(使途は自由)

③講師選定……

・各流改協が目的に応じて依頼(地域の商工会議所、会計事務所など)
・研修内容によってはJミルクへの依頼も可能

・全改協から紹介することも可能

④研修内容の展開……研修を録画し、全国の加盟店が視聴参加できるよう、全改協のホームページで公開します。また必要に応じて、オンライン形式でも開催して、広く参加できるようにします。

2 牛乳販売店の優良事例 発表および表彰事業

加盟店の優れた取り組みを広く発表し、加盟店の皆さまの経営に役立ていただくための事業です。

宅配を取り巻く環境が変化し、牛乳販売店の宅配事業も見直しが求められています。従来型の、牛乳宅配中心の事業スタイルを保ちながらも工夫によって業績を伸ばす加盟店、新たな事業との複合

経営で現状を打開する加盟店などを紹介し、加盟店の皆さまと事例を分かち合い、経営の改善に役立てていただきます。多くの加盟店の皆さまからの積極的なご応募をお待ちしています。

各発表店の活動内容、当日の発表の模様を動画でご覧いただけるようにしています。

すでに過去の内容がホームページに公開されていますので、ぜひご覧ください。



なお、この事業で発表した加盟店の中から最優秀賞を除いた店舗を、公益財団法人食品等持続的供給推進機構が実施する優良経営食料品小売店等表彰への推薦を行います。これは毎年2月に同機構が選考を行い、農林水産大臣賞、農林水産省大臣官房総括審議官賞以下6つの賞の表彰がなされます。

3 広報関連事業

①機関紙「全改協だより」の発行
年3回、機関紙「全改協だより」を発行します。全改協の事業内容を中心に、そのほか加盟店の皆さまに役立つ情報、関連する法律や政府からの情報、Jミルクなど関係団体から発信される牛乳乳製品や酪農乳業界の情報、そのほか加盟店の皆さまの経営活性化につながる情報をお知らせいたします。

②全改協ホームページ
都道府県流改協や加盟店の皆さまに全改協から提供する情報、必要な文書、知っていただきたい情報などをタイムリーに掲載し、必要に応じて受け取っていただけるようにしています。そのほか常時情報を掲載し、一般に向けた、宅配

4 消費拡大事業

牛乳や牛乳販売店の情報等への理解を深めていただくようにしています。

「牛乳でスマイルプロジェクト」の旗印のもと業界挙げて取り組む牛乳乳製品の消費拡大活動に、販促ツールの制作配布などを通じて参加します。

昨年度は、既存顧客用、新規顧客開拓用に2種類のリーフレットを作成し、宅配牛乳を選択するメリットを説明し顧客獲得、増本に取り組みしました。本年度は、「生活者に合ったミルクの選び方」を身近な専門家である牛乳販売店がアドバイザーするというコンセプトでリーフレットを作成し、各乳業メーカーの製品販促チラシ等とともに配布するものを作成し、業界一丸の消費拡大活動に貢献することを目指しています。

リーフレットは、完成しましたら流改協やマーク協等を通じて、申し込まれた加盟店様に直接お届けしますので、日々の販促に積極的にお使いください。

5 組織活性化事業

引き続き、3つの委員会で、全改協、流改協全体についての検討を行います。

●組織検討委員会…各都道府県の流改協が組織運営を行ううえでの課題について検討する

●既存事業の見直し…「牛乳販売店の優良事例発表および表彰」事業、「ミルクカレンダーの制作・あっせん」事業について見直す

●実施事業検討…関係団体が実施する事業への参加や活用を行い、加盟店の活性化につなげる。Jミルクが実施する需要拡大事業との連携を密に行う

全改協からのお知らせ

引き続き

クマ被害にご注意!!

報道でご存じのとおり、クマの出没、被害が増えるいっぽうです。しかも商店街などにも出ておりいっそう危険な状況です。全改協だより第111号でお知らせしました注意を再掲しますので、ご参考にしてください。

WARNING

第111号 再掲

加盟店における
クマ被害防止のために

例年にないクマ出没による被害が頻出しています。全改協としては、加盟店の皆さまの従業員とご家族、お客さま、店舗等の建物に対する被害が発生しないよう、業務時、配達時に注意いただきたい点を以下に記しますので、被害防止のご参考にさせていただきたくご連絡いたします。

1

遭遇しないために

- クマ鈴やスマホ、ラジオなどで音を出す（早朝での近隣の住宅に配慮をしてください）
- クマの痕跡*が見られた場合、そこに近づかないようにしましょう。
*痕跡の例:足跡、フン、樹上の「熊棚（鳥の巣に似た、樹上に作る折れた枝などの寄せ集め。鳥の巣よりはるかに大きい）」など
- 配達時である朝と夕方によく活動すると言われていたので、特に注意してください。
- 遠回りでも配達経路を安全なルートにする。林の中、山際の林、山と接している林の中や川沿いに出やすいと言われています。特に、川はクマが移動によく使うと言われているので注意してください。

2

遭遇時の対応

- クマを刺激しない。目を離さず、ゆっくりと後ずさりしながら離れる。叫んだり大声を出したりしてはいけません。このとき、クマの逃げ道を確保してあげる。
- クマとの間に立木等の障害がくる位置に移動する。
- 背中を見せて走って逃げると追ってくるので危険。
- 仔グマがいたら近くに母親がいる。母親は子を守るため敵に対して攻撃的になるので「仔グマであっても危険」と認識する。

3

出没を防止する

クマがヒトの生活圏に入ってこないようにするため、市街地において、

- 柿などは実を落とす。可能ならば木を伐採する。ペットフードなども外に出したままにしない。
- ペンキ、ガソリン、発酵食品（ぬか漬けなど）の匂いの強いものを屋外に出したままにしない。
- ゴミ集積場にゴミを残さない。
- 草木の茂みなどは可能な限り刈って隠れる場所をなくす。などの対策も必要です。加盟店だけでは実施しにくい場合は町内会等で協力してください。これも「牛乳屋さんの地域貢献」につながります。

4

地域で出没があったら

それでもご担当のエリアでクマの出没の情報があった場合には、安全が第一ですので、無理に配達業務に出ず、お客さまに連絡をし、落ち着くまで外出を控えるなどの対策を取ってください。また、普段からお店のドアは戸締まりを徹底しておく、自動ドアの場合は手動に切り替える、通りに面した冷蔵庫の施錠は徹底するなどの対策をお願いします。

安全第一

お客さまに連絡

冷蔵庫の施錠

お店のドアの戸締まり



eLTAXを利用しましょう

年末に、従業員の給与についての源泉徴収票を、従業員の居住地の市区町村に提出すると同時に税務署にも提出する必要があります。このしくみが、源泉徴収票のみなし提出の特例により、令和9年1月1日以降は、「市区町村に「給与支払報告書」または「公的年金等支払報告書」（以下支払報告書）を提出した場合には、税務署にこれらの提出をしたものとみなされ、税務署提出用の支払報告書を作成、提出する必要がなくなります。」

支払報告書の提出は、地方税ポータルシステム（eLTAX）を利用すると金融機関等に行かずにインターネットバンキング等で納付でき便利です。この機会に手続きして利用することをお勧めします。

源泉徴収票の提出方法の改正について詳しくは右記からリーフレットを起動してお読みください。

源泉徴収票の提出方法の改正説明リンク



eLTAXについて▶

<https://www.eltax.lta.go.jp/eltax/>

全改協が
ラジオ番組の取材を受けました

TBSラジオで日曜朝7時30分から放送の「石川真 DAIRY LIFE」という番組の8月23日放送回で、宮崎会長が全改協会長として出演、全改協が紹介されます。同番組は生乳生産者団体である関東生乳販売農業協同組合連合会が制作協力しているトーク番組で、関東の酪農家の現状や思いや酪農乳業の話題を、ラジオパーソナリティの石川真さんのインタビューを通じて消費者に伝える番組です。

放送では、牛乳の宅配、牛乳販売店にスポットを当て、牛乳が消費者に届くまでの流通において牛乳販売店の宅配が果たしている役割、牛乳乳製品の消費拡大についての牛乳販売店等の取り組み、牛乳販売店が日々気を付けていることなどについて宮崎会長が取材に対して答える形で語る予定です。

インタビューの内容は、放送後、番組のホームページから聴くことができます！

ホームページへアクセス
<https://www.tbsradio.jp/milk/>

下部「TOPICS」の中の
2026.08.23放送回をクリック
(8月23日以降)

今回の内容をパソコンで聴けます

雪印メグミルク

おいしい牛乳

低温脱気製法

低温でやさしく酸素を除去してから殺菌することで生乳本来の“おいしさ”を保つ技術です。

カルパワー

1日分のカルシウムと鉄分

栄養機能食品(鉄・葉酸)

ビタミンD 葉酸 ビタミンB12

低脂肪

食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。



雪印メグミルク
宅配フリーコール

0120-758-369

9:00～17:00
(土日・祝日・年末年始を除く)

商品の中身・成分に関するお問い合わせ

<https://www.meg-snow.com/contact/t-inquiry/index.php>

